

過去5年の木造耐震改修の実績

<令和元年度>

No.	床面積(㎡)	改修費用(円)	上部構造評点 (改修前→改修後)	耐震改修内容
1	87	238万	0.47→1.56	耐震壁の設置
2	87	132万	0.58→(※1)	屋根の軽量化
3	58	78万	0.22→(※1)	屋根の軽量化

<令和2年度>

No.	床面積(㎡)	改修費用(円)	上部構造評点 (改修前→改修後)	耐震改修内容
1	101	275万	0.26→1.05	耐震壁の設置
2	104	192万	0.35→1.02	耐震壁の設置
3	65	182万	0.60→(※1)	屋根の軽量化
4	66	146万	0.66→1.00	耐震壁の設置・屋根の軽量化
5	79	84万	0.79→1.02	耐震壁の設置
6	86	116万	0.43→1.15	耐震壁の設置
7	117	294万	0.16→1.14	耐震壁の設置

<令和3年度>

No.	床面積(㎡)	改修費用(円)	上部構造評点 (改修前→改修後)	耐震改修内容
1	95	292万	0.21→1.01	耐震壁の設置・屋根の軽量化
2	111	265万	0.86→1.10	屋根の軽量化
3	84	284万	0.33→(※1)	屋根の軽量化

<令和4年度>

No.	床面積(㎡)	改修費用(円)	上部構造評点 (改修前→改修後)	耐震改修内容
1	76	224万	0.47→1.02	耐震壁の設置・屋根の軽量化

<令和5年度>

No.	床面積(㎡)	改修費用(円)	上部構造評点 (改修前→改修後)	耐震改修内容
1	80	271万円	0.22→(※1)	屋根の軽量化

(※1)簡易耐震改修工事のため、改修後の上部構造評点は省略。

上部構造評点の目安(震度6程度による地震時における基準)

評点(※2)	判定
0.7未満	倒壊する可能性が高い
0.7以上1.0未満	倒壊する可能性がある
1.0以上1.5未満	ほとんど倒壊しない
1.5以上	倒壊しない

(※2) (一財)日本建築防災協会「木造住宅の耐震診断と補強方法(2012年改定版)」より

## 過去5年のマンション耐震改修の実績

<令和元年度～令和5年度>

No.	床面積(m <sup>2</sup> )	改修費用(円)	構造耐震指標Is値 (改修前→改修後)	耐震改修内容
	実績なし			

耐震構造指標の目安(震度6程度による地震時における基準)

Is値(※)	判 定
0.3未満	倒壊する可能性が高い
0.3以上0.6未満	倒壊する可能性がある
0.6以上	倒壊する可能性が低い

(※)国土交通省告示第184号(平成18年1月25日)による。